

大崎耕土 未来へつなぐ「生きた遺産」vol.30

大崎耕土の水管理基盤のつながり④「遊水地による水管理」

大崎耕土では、山間地から低地までの地形条件にあわせて、地域ごとに適した水管理の方法が行われてきました。これらの水管理が組み合わさることで、地域全体がひとつのまとまった水田農業地帯として発展してきました。その様子は「水管理の見本市」といえます。

特に、江合川や鳴瀬川の下流域は勾配が極めて小さく水はけが悪いため、台風や豪雨による洪水がたびたび起こり、人々は悩まされてきました。「品井沼遊水地」(鹿島台地域)と「名緒沼遊水地」(美里町・涌谷町)は、ともに沼を干拓して水田にした地域ですが、河川に隣接する水田が「遊水地」の働きをします。洪水時になると、川岸に設置した「越流堤」から水を水田に逃がすことで、川の増水を弱め周辺の集落や農地の被害を最小限にとどめているのです。稲は、ある程度の期間なら水につかっても耐えられる性質があり、水田の遊水地利用を可能にします。水田を浸水させる代わりに集落を守る考えは、「災害は完全には防ぎきれないが被害を最小限にとどめる」という「減災」に通じる発想といえます。

また、「蕪栗沼遊水地」(田尻地域)では、沼が残り、その周辺に水田が広がっています。洪水時には、川の水を沼の中にためていき、やがて沼が溢れそうになると、越流堤から隣接する水田に水を逃がします。蕪栗沼の特徴は、このような遊水地の機能に加え、ミズアオイなどの希少植物の宝庫であり多様な生きものが存在していること、そして、沼と水田がそろう条件により、マガンなどの渡り鳥にねぐらとえさ場を提供していることです。約10万羽のマガンが越冬する蕪栗沼は、ラムサール条約湿地に登録されています。

食糧生産と洪水調節を両立させている、遊水地を兼ねた水田は、限られた土地を多目的に賢く利用しており、さらに生物多様性の保全にも貢献しています。



【問い合わせ先】
世界農業遺産推進課
☎ 23-2281
osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp



▲沼と水田で構成される蕪栗沼遊水地



▲蕪栗沼遊水地で越冬する10万羽のマガン

3月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,221	- 20	39,625	- 1	77,846	- 21	31,195
松山	2,967	- 1	3,121	- 6	6,088	- 7	2,195
三本木	3,961	- 8	3,994	- 5	7,955	- 13	2,698
鹿島台	5,811	- 8	6,197	- 7	12,008	- 15	4,525
岩出山	5,334	- 12	5,620	- 16	10,954	- 28	4,197
鳴子温泉	2,940	0	3,260	- 9	6,200	- 9	2,753
田尻	5,451	- 10	5,601	- 18	11,052	- 28	3,600
市全体	64,685	- 59	67,418	- 62	132,103	- 121	51,163

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

今月の納税

5月から各種税の納付が始まります。口座振替は、納付書に比べて手間が省け、納め忘れがなく便利です。新たに口座振替を希望する場合は、4月13日(金)までの申し込みで、5月31日(木)納期限分から振替できます。金融機関の窓口で手続きをお願いします。

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

3月19日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.04	0.04
三本木総合支所	0.06	0.07
鹿島台総合支所	0.04	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.04	0.05

火災発生件数

(2月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	7件	0
林野火災	0件	0
車両火災	1件	0
その他火災	0件	0
合計	8件	0

交通死亡事故件数

(3月15日現在・右欄は前年比)

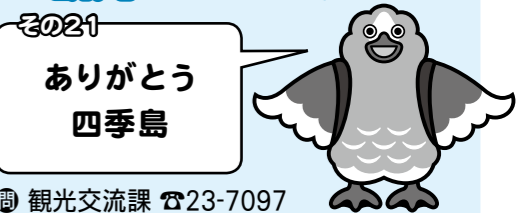
発生件数	1件	0
死亡者数	1人	0

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当 ☎ 23-5144

4月号の主な内容

- 4 復興から創生へ 着実な歩みを 平成30年度予算のあらまし
- 7 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定しました
- 8 大崎市長選挙・大崎市議会議員一般選挙
- 9 市の組織機構が変わります
- 10 通学・通勤・通院・買い物に市民バスを利用しよう!
- 12 平成29年度大崎市教育委員会表彰
- 16 狂犬病予防注射を受けましょう
- 18 市政トピックス 3月の主な出来事
- 19 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- 20 オオサキプレイガイド
- 22 今月のお知らせ 行政区を分割します ほか
- 34 子育て支援情報
- 35 育児相談・乳幼児健診
- 36 休日当番医 ほか

ピタ崎さんの 観光ひとくちメモ



3の21
ありがとう
四季島

☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

昨年12月から計16回、全国各地から乗客を乗せてJR鳴子温泉駅にやってきた最高級リゾート列車「トランスイート四季島」。3月19日、最後の四季島が大崎市にやってきたよ。

これまで、市内各地のJR陸羽東線沿いで、たくさんの方が歓迎してきたんだ。ぼくたちが手を振ると、乗客も手を振り返してくれて、みんながあつたかい気持ちになつてくれたよ。乗客の皆さんからは、感謝の手紙が



▲雪が降る中、鳴子温泉駅で旗や手を振って歓迎する鳴子温泉地域の皆さん

届いたり、おもてなしを通してつながりもできたよ。しばらく大崎市にはやってこないけれど、今度来る時にも、みんな歓迎しようね。

今月の表紙

3月8日、大崎市立の中学校11校で卒業式が行われました。

昨年、創立70周年を迎えた古川中学校では、父兄に見守られる中、全生徒194人が卒業証書を受け取りました。うれしさやつらさなど3年間の思い出が詰まった学び舎で、りりしく誇らしげに最後の行事に臨んでいました。

生徒を代表して答辞を述べた金田一啓太さんは、「家族や先生、多くの人に支えられて3年間頑張ってきた。これから頑張りたい」と決意を表しました。

今年中学校を卒業された皆さんおめでとうございます。新たなスタートを切り、勉強やスポーツ・文化活動に充実した毎日が送れるよう願います。



▲一人一人卒業証書を受け取り、新たなスタートを切ります

市長コラム

天地人

花嫁の父 初体験

先頃、花嫁の父を初めて体験しました。

仕事柄、結婚式には随分参列し、花嫁の父の役割は知り尽くし、心構えもできていたつもりでしたが、その日が近づき、当日を迎えると複雑な気持ちでした。

チャペルの扉が開き、娘とパーズンロードを一步一步歩きながら、娘の誕生から、立派に成長した姿、さまざまに思い出が浮かんで消え、感傷に浸って歩きました。新郎に「未来」を託し、バトンタッチ。急に我が娘が遠い人になったようにジワッとききました。

秋には次女も嫁ぎます。幸いにして、我が家に恋のキューピット、縁結びの神が訪れていただきましたが、晩婚化、未婚化は深刻な社会問題です。

各種調査を見ても、ほとんどの若者が結婚を希望しているにも関わらず、結婚を遅らせねばならない状況や、生涯結婚をしない選択をする人も

増えております。未婚に留まる理由のトップは「適当な相手に巡り会わない」でした。

最近まで、地域社会には、縁結び役の仲人おばさんがいたり、若者の出会いの場でもある青年活動が盛んでしたが、地域コミュニティの変質により、マッチングの機会が弱体化しています。

そのような背景と危機感から、全国の自治体が婚活・結婚支援に取り組み始めました。本市も2年半前から「婚活支援センター」と「移住支援センター」を開設し、若者の婚活・住宅支援事業に本格的に取り組む始めております。お気軽にご活用ください。

若い皆さんに素晴らしいご縁がありますように! 花嫁の父がたくさん誕生しますように!



大崎市長 伊藤 康志